

北松へ新見タ

単一女子組
への取り組
みへ学習会
及び講演活
動への戦争
の語り伝え
・折り鶴運
動・他団体
と共に
をレポート
と実際に使
ったパネル
などを使つて

今回の合同学習会は、平和運動の活動(実践)報告を、参加者としても詳しく知る組織である退教連としても詳しく知る組織である退教連として、この場



(文・写真・事務局長西村祐一)

ヨ力活動報告

みんな楽しんでますよ

くよか余暇活動支部別報告



昨年年度に引き続き退教協は、全
国退職職員生活がい支援協会の
の支援事業として、余暇活動に
をもらいました。余暇活動に
支援職員共済協会の補完組織で、保
険事業を扱っている。その収益で日教組や
退職者組織である日退教の福利活動
を支援してききました。残念ながら今
年度で事業そのものが「店じまい」
になりまして、補助を受けるには
それなりの手続きが必要でした。ま
ず計画書の提出し、そして活動が終
了したら報告書を提出しました。計
画書提出に当たっては、各支部に「レ
ク調査」をお願いし、それをもとに
書類を作りました。このコーナー
ナリは、個人の「ヨ力活動」の支
部名の場所、参加人数の順に全ての
支部の活動を紹介します。

長崎 11月15日、グランドゴルフ、
立山公園、15名
10月16日、伊王島アイランド長
崎、11名
4月13日、親睦「退職者を
ねぎらう会」、料亭「はた
な」(五島市)、10名
11月25日、楽しい木工「額
縁作り」、島原市勤労者会
館、15名
10月31日、日帰りレクの旅
有明海干潟や道の駅に立ち
寄り、保養施設「いこいの

佐世保 村長崎」で食事と温泉を楽
6月12日、健康ウォーキン
グ、「あじさいロード」を
景色を楽しみながら歩く、
14名

北松 5月27日、28日、研修旅行、
アサヒビール(福岡市)か
える寺(小郡市)「旅館(嬉
野市)「梅が枝酒造(佐世保
市)「有田館(有田市)の旅
程、10名

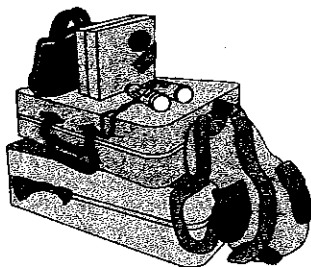
吉岐 11月15日、16日、大分国東
半島の旅、宇佐神宮「富貴
寺」杵築市ガイド案内、6
名

各支部がそれぞれのニーズでそれ
ぞれの計画を立て、仲間と楽しい時
を過ごしたことがわかります。大東
と佐世保と島南は男女一緒に活動で
す。

体が思うように動かさなくて時に
ヨロヨロしたりしながらも、それで
も歩いて景色を楽しみ汗をかき、見
聞かぬ景色をいろいろな味覚を楽
しみ、温泉に浸かって寿命を延ばし、
指先を巧みに動かして老化を遅ら
せ、ボールをたたき転がすことで筋
力をキープし、さらにその動きを追
うことで動体視力の衰えを防ぎ、喋
りや、様々な知恵を集めて、サン
デー毎日の退職者でないとできない
ことを工夫しながら、また来年もと
健康に楽しみはテレビと食事、老々介

護などで苦しんでいるマイナーな仲間が、いることも現実です。しかし、まだまだ冴えてる頭で数独を解き、旅をし、食事を楽しみ、手記を書き、ジョギングやテニスや登山をし、栽培を楽しみ、ボランティア活動や平和活動などの市民運動に参加し、コンサートや展示会に行つて芸術を楽しむ、シルバートの仕事で稼ぎ、孫の世話をするなどメジャーでエネルギッシュに人生をますます豊かにして、いるたくさんの方の仲間が、いることも事実です。これからは、困難にめげず、仲間と大いにエンジョイしていきましよう、よか活動で。

なお、支援協会からの支援金は、今回で終わりになりますが、各支部の活動内容を考慮して配分します。



支部活動報告

島南支部 支部長 吉野博信

50名でスタートしました。今年度の島南支部は、会員親会に始まり、毎月9日の総会と懇話会に始まり、毎月3土曜日の「反核座り込み」、毎月第3土曜日の「九条壊すな島原地区集会」への参加、現退共催の「島南旗開き」、島原地区メーデーの参加等、勤労協の仲間や

現職組合員との共働のもとで、取り組みができました。近年、いづれの活動も参加者が固定し、会員の活動も相まらなくなりました。退教協の活動は衰退するばかりでした。退教協のこのよう島南支部では、克服するために、支部分員を若返りと、支部分員の活動を企画することを進めてきました。支部役員は、この数年間選出が難航して、支部の存続も危ぶまれる状況でした。何とかこの状況を克服するため、退職後、再任用中の若い会員の力を説得して、支部役員を引き受けていただきました。お二人は、事務局長柴田高則さん、事務次長柴田高則さんです。お二人の決断にただ「感謝」です。お二人は、古藤先生を囲む会を催し、古藤先生の凄惨な被爆体験が、自らの教育活動の原点であるとの熱い語り、仲間、現職教員をのこ含め、約20名が参加しました。25日の「指導室」で、高月さきの「木工教室」を



仲間と十名が参加して「額縁づくり」に挑戦し、楽しい一時を過ごしました。島南支部では、このように独自活動を少しずつ積み重ね、停滞していきたいと思っているところですので。

ご協力に感謝！

核兵器廃絶1000万署名

集約が困難な中、ご協力をいただきました。日退教に送付しました。被爆75周年を迎えます。要請事項にあつたように、米国におもねるのではなく、被爆国として「核兵器禁止条約」に批准するよう、これからも強く訴えていかなければなりません。
(総数1000枚 500筆)

高校生平和大使カンパ

昨年10月に県高問連から要請を受けました。カンパ袋を配布するところができません。本来の目的から、員会で協議して、本来の目的から、外れませんが、支援協会からの支援金の中、2月に届けました。来年度は、袋を配布します。私たちが今後若

コラム「安倍への怒りで」

大東支部 富崎葉子

憲法9条全文製作、それは怒りである。安倍政権になって私のイライラは日に日に増していった。言っていることと実際の行動が全く異なる。このような「方」が日本の首相として居座っている現実。支持する人が不支持を上回っているという日本国民の実態。その理由が「他の政権よりまし」とは。ハアッ、どこが、なにがましだ、というのだろうか。自画自賛するだけの、口先だけの、嘘を嘘で塗り固め、「責任はある」と言いながら、「自分が政権を担っていていくことが責任を取るといふことだ」みたいなことを言っておられる。よくも自分の名前を使えるものだとあきれるアベノミクス三本の矢は、3本どころでは無い。戦争で人を殺す矢となり、辺野古埋め立てや原発再稼働など人命や自然を破壊する矢となり、部下の本音を殺し付度させる矢となり、「美しい日本」と改憲、「改憲」と寝言のようにあの口からしゃしゃり出して出るたびに、怒りがわたってくる。憲法を最も遵守すべき立場の人が平気で改憲のために権力をふるう。世界中の国が「戦争放棄、戦力不保持、交戦権否定」を定めた憲法を持っていたら、戦争はできない。憲法9条は世界平和を築く理想である。軍需産業で経済力を付けるといふ野蠻な政策は早く終わりにしてほしい。

退職してから私は「週刊金曜日」を定期購読するようになった。2018年4月27発行は憲法特集だった。その中の伊藤千尋さん(国際ジャーナリスト)の記事「九条の碑」を歩く」を読み、九条の全文を刻んだ石碑が全国に十八箇所あると知った。私は感動し、「自分も畑の隅にでも建てようか...、それとも墓にしようか」など考えた。「それでは間に合わない、今すぐでない」と。そこでハッと思いついた。「キルトにしよう。それなら私にできる。安くつく」。

この9条のキルトは、「生命を尊重し、戦争をしないさせない、世界平和を望む」熱い心を持った仲間の手で作られた。時には「なるようになる」と9条を守り通す気持ちの遠く。これではいけない、あきらめてはいけない、自分の心の中に平和の砦を築かなければいけない、と思いつく。このキルトは、2019年5月20日から22日まで開催された県高間連主催の「いきいき趣味の文化展」長崎会場でも会場の中央に展示された。また、その後、翌日の大村市内の地区展でも旧労働会館会場に展示され、さらさら今年、これを多くの人に繋いでいくために、県高間連のいきいき趣味の文化展が中心となつて、第5回開催と被爆75周年の記念事業として8月9日完成を目標に製作されます。またこの9条製作の取り組みは3月5日に大分で開催される九ブ口の研修会で報告されます。

編集後記

池田哲夫(編集委員)

今国会の感想

大相撲にたとえると、安倍政権の自公は炎鵬、立憲・国民・社民の野党は遠藤とします。炎鵬は相手の力を利用して、軽くいまして遠藤を打ち負かしました。

小物(河合夫妻や菅原)はおいて、大物をあぶりださないと、「桜を見る会」で安倍政権の支持率が少し下がったとはいえず、野党の支持は増えないと思えます。

また、IR法での収賄疑惑の秋元司副大臣の件は、刑事事件になつておもしろいと思えます。何もふれないのはおかしいと思えます。

次の総選挙は、安倍の息の根を止めるか、続投させるか、天下分け目の闘いになります。黙っていては状況は絶対変わります。黙っていては状況は絶対に変わりません。黙っていては状況は絶対に変わりません。黙って

組の闘いに学びます。国民のニーズをつかむ。わかりやすい言葉で表現し、それを実行する。決してあきらめない、野党はがんばらなくてはなりません。

みなさん、怒りましょう、拳を振り上げ叫びましょう、安倍を倒そう!